

久木小 だより

2026年5月22日 No.3

逗子市立久木小学校

校長 井手 真佐子

電話 046-873-2054

学校ホームページ

<https://www.city-zushi.ed.jp/e-hisagi/>



本番に向けて、熱が入っています！！運動会練習、真っ最中！

30日（土）に開催される運動会に向けて、スローガンが決まりました。「みんな主役で協力し勝っても負けても たのしいままで」です。運営委員会が母体となり、まず、案を募集しました。集まったものの中から運営委員会が3つに候補を絞り、全クラスで投票し、その票数を集計し決定となりました。

一人ひとり「みんなが主役」と尊重しながら、「協力する」大切さ、「勝ち負け」の結果だけでなく、プロセスを「楽しむ」というところ、素晴らしいです。

今練習を通して、自分と周りのひとのいいところにたくさん気づいてほしいと願っています。本番に向けての体調管理、本番の声援、どうぞよろしく願います。

詳細については、5月15日に配付・配信したお便りをご確認ください。

*実施・順延については、前日29日（金）16:30～17:00に判断し、マチコミにてお知らせします。マチコミにてメール受信ができていない方は、担任まで事前にお知らせください。



↑モジュールの時間に、応援団が各教室に出向き、応援練習をしている様子です

1年生を迎える会が開催されました！

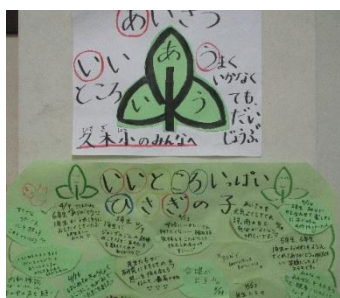
5月8日（金）の5時間目に1年生を迎える会を行いました。運営委員が中心となり、準備から当日の進行を担いました。全校みんなでクイズなどを楽しみました。2年生～6年生みんなに出迎えられた1年生はとてもうれしそうな様子でした。



学校長より

あいさつは、自分と他者をつなぐ第一歩。おとなも子どもも心がけたいですね。そこで「サキドリあいさつ選手権！」と名付け、「先にあいさつした方が勝ちです！」と子どもたちに伝えていきます。即座に「おはようございます！」と反応する子どもたち。さすがです。自然に笑顔がこぼれ「わたしまけましたわ。」と、（下から読んでも…）完敗の私です。

校長室横にある「いいところいっぱいひさ木（写真）」に、子どもたちがいいところを書いていてうれしいです。日々、新たな気づきがあります。



第1回西部学校運営協議会（コミュニティスクール）が開催されました

5月7日に本校会議室にて行われました西部（久木中学校区）学校運営協議会について、お伝えします。まず、今年度の委員の皆様は次の通りです。

- ・保護者代表として：久木小から大野 慎也さん、小坪小から山本 愛さん、久木中から大郷 意子さん、
- ・地域住民として：小林 壽志さん、飯國 量子さん、草柳 聡一さん、
- ・学校運営に資する活動を行う者として：石井 朋子さん
- ・学識経験者として：妹尾 昌俊さん
- ・久木中学校より：西村 知子校長先生、小倉 修教頭先生、二宮 理先生、
- ・小坪小学校より：田中 紀子校長先生、井下 啓嗣教頭先生、松本 卓也先生、
- ・久木小学校より 井手 真佐子校長先生、斉藤 誠教頭先生、阿部 里美先生です。

議事としては、

- ① 会長・副会長の選任：飯國會長、草柳副会長が選任されました。
- ② 学校経営方針の承認：前号でお伝えしました久木小の学校教育目標および経営方針（下に載せます）が承認されました。
- ③ 今年度の重点として、3校ともに「授業改善の推進」としました。
- ④ 西部地区3校の学校運営協議会の共通目標「ともに学び、ともに輝く」が承認されました。

2026年度 久木小学校 学校経営方針

昨年度から逗子西部コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の取り組み（*次ページ参照）がスタートしました。久木中学校と小坪小学校と本校の学校教育目標は、「ともに」を共通言語としています。小学校と中学校の教育課程を合わせて9年間、久木中学校区の子どもたちを「ともに育む」という思いを大切に、家庭・地域・関係機関と相互理解を深め、互いの思いを活かす学校づくりをめざします。

そのために小学校が担うべき役割を明確にし、子どもたちの発達段階や特性に応じた多様な教育活動を組織的に行っていくことが必要であると考えます。

予測困難な時代において、子どもたちが未来へ向かって自分らしく生きるための資質や能力を身に付けることができるよう学校教育目標の実現に向け、具体的な方針を定めます。

学校教育目標を実現させるための具体的な方針

方針1【学びづくり】 学校ならではの学び～個に生きる集団での学び～を追求し、授業改善を通して確かな学力を育む

(1)個に生きる集団での学びの追求

- ・授業づくりと集団づくりを一体としてとらえ、個に生きる集団での学びを追求し確かな学力を育成するとともに、学び合う楽しさを味わい、主体的に学習する態度を育成します。
- ・対話的、協働的な学びを通して、自分の意見や考えを明確に持ち、相手に自分の思いや考えを伝えることができる子どもを育成します。

(2)校内研究の充実～教職員の指導力の向上～

- ・学習指導要領に示された各教科・領域の目標達成を目指し、校内研究に取り組んでいきます。外部からの講師招聘、校内での授業研究等、教員が学び合う機会の設定とその内容の充実を目指します。

- ・多様な学びのスタイルに対応できるように、環境整備に努めるとともに、学びの系統性、継続性を重視し、6年間を見通した子どもの学び、成長を考えていきます。
- ・インクルーシブの視点や主体的・対話的で深い学びの視点から授業改善に取り組みます。
- ・幼・保から小学校へ、小学校から中学校への接続がスムーズに行われるよう、積極的に連携を図り、学びの系統性を意識したカリキュラムを進めます。

方針2【関係づくり】 子どもを真ん中に、いいところや成長を語り合う関係を築く

(1) 支援教育の充実

- ・子どもの個性を認め合い、すべての子どもがともに学びともに育つことを通して、互いを理解し、尊重し合う精神の育成を図ります。
- ・児童理解を深め、子ども一人ひとりのニーズや保護者のニーズに応じられるよう、教育相談コーディネーターを中心とした校内支援体制を整備し、関係機関との連携を図りながら、チームによる支援を充実させます。
- ・障がいの有無に寄らず、合理的な配慮に基づいて、一人ひとりの教育を保障する教育支援の充実を図ります。

(2) 学校・家庭・地域との協働による学校づくりの推進

- ・学校からの情報発信をタイムリーに行い、家庭・地域の協力を得ながら、体験活動や世代間交流など多様な学びの機会をつくり出します。

方針3【居場所づくり】 お互いを理解し、自分も仲間も気持ちよく生活できる場所を協働して創る

(1) 安全・安心な環境づくり

- ・どの子どもも安心して自分らしく学校生活を送れるよう、児童理解を深め、保護者・地域の方・関係機関と連携を密にし、環境調整を行っていきます。

(2) 教育課程の再確認

- ・各教科や特別活動等魅力ある教育実践を通して、どの子どもも活躍できる場づくりを推進します。

(3) 支え合う、働き甲斐のある職場づくり

- ・業務分担の枠を超え、チームで協力し合える職場環境をつくり出します。

◎コミュニティ・スクールって何？

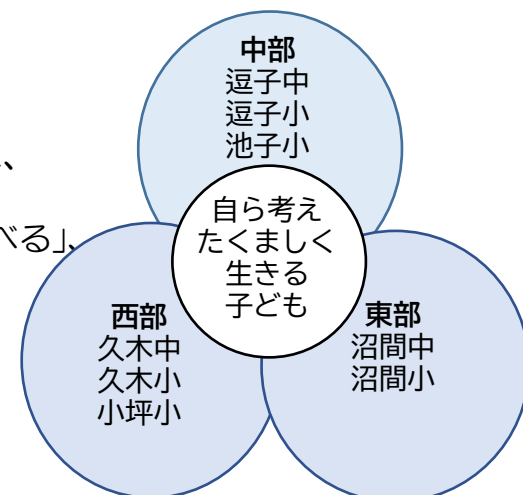
「学校運営協議会」を設置した学校のことです。

◎学校運営協議会って何をやるの？

学校と地域とで育てたい子どもの姿を共有し、その実現のために、学校の運営について話し合う合議体です。

主に、「学校運営の基本方針を承認する」、「学校運営への意見を述べる」、「教職員の任用に関する意見を述べる」という機能があり、子どもや学校が抱える課題解決のために話し合います。

※学校運営の責任者は校長であり、学校運営協議会が校長の代わりに学校運営を決定・実施するものではありません。



～校地内への駐輪・駐車について～

久木小学校の敷地は児童数に対してあまりゆとりのあるものではありません。皆様にはご不便をおかけすることもあります。児童の通路及び安全の確保のために、次の通りご協力をお願いします。

1. 自動車

- 自家用車による児童の送り迎えや来校は原則として禁止しております。但し、児童の急な怪我や病気によるお迎えの場合はこの限りではありません。事情があって自家用車による送迎や来校を希望される場合は、事前に担任へご相談ください。
- 学校周辺の路上への駐停車は、近隣の方の迷惑となりますので、ご遠慮ください。
- 民間の学童保育や放課後デイサービスの送迎車についても、年度当初の申請をお願いしています。利用されている方は、施設にその旨ご連絡いただき、申請書をご提出ください。
- 次の学校行事等が開催される日や時間帯は、駐車を許可することができません。
 - ・入学式、懇談会、個人面談、学習参観、学習発表、運動会、学校へ行こう週間、卒業式
 - ・多数の参加者が見込まれる（臨時駐輪場を設置する必要がある）PTA 行事、他

2. 自転車（下図参照）

- 自転車で来校された場合は指定の場所に駐輪してください。
- 多数の方が自転車で来校することが見込まれる日は、職員玄関前スペースを臨時駐輪場とします。
- 全校に係わる行事（運動会、土曜参観等）の際は、自転車での来校はおやめください。徒歩でお願いします。

